

勉強教えて 島大生!

宿題持ち込んで 小中生17人合宿



島根大の学生（中央）の指導で勉強に励む中学生

島根大（松江市西川津町）の学生が先生役を務め、小中学生が泊まり込みで学習する合宿が17日、浜田市弥栄町長安本郷の弥栄会館で始まった。町内の小中学生17人が夏休みの宿題などを持ち込み、同大教育学部の学生から解き方や暗記のことを教わり、2学期に備えた。

（佐々木一全）

学習塾のない同町では、

週1回、同会館で地元住民が勉強を教えるなど、地域を挙げて子どもの学習支援を展開。夏休みの合宿は、年齢の近い学生に教わることで勉強への意欲向上につながれようと、安城公民館と同大教育学部が2010年から毎年実施している。

子どもたちは、地域に出

掛けて指導に取り組みカリキュラムを専攻している同学部1、2年生10人から、国語や数学などを教わり、分からない部分を質問した。学生はノートやマーカーを使い、要点をつかみやすく工夫しながらアドバイスを送った。

数学を教わった野村生久真さん（14）は「弥栄中学校2年」は「とても分かりやすく、授業で習ったことがしっかり復習できた」と振り返った。同学部2年の藤谷彩加さん（19）は「一人一人に応じた指導を経験できて、教える側もよい勉強になった」と話した。

合宿は19日まで。18日は学生たちの考えたレクリエーションにも取り組む。